

全道10月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和4年9月13日
警察本部交通企画課

【概況】

- 発生件数全体の事故類型では、人対車両が最も多く、次いで自転車対車が多い。
死亡事故の事故類型では、人対車両が最も多く、次いで車両単独が多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、2割以上がシートベルト非着用で、非着用のうち約9割がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では16時から18時が最も多く、次いで18時から20時が多い。
- 地形別では市街地の交差点及び市街地の直線が多く、9割以上を占める。
- 人対車両の第1当事者(車両)の違反別では、歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。
年齢層別死傷者数では、65歳以上が最も多く、全体の約5割を占めている。
道路横断中の死者のうち、歩行者側の6割以上に信号無視などの法令違反あり。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では14時から16時が最も多く、地形別では非市街地カーブが最も多い。
- 正面衝突及び車両単独における第1当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢運転者が最も多く、次いで24歳以下及び50歳代が多い。
- 自転車対車は、時間帯別では16時から18時、地形別では市街地の交差点、事故類型別では出会い頭が最も多く、出会い頭のうち、自転車側4割以上に信号無視や一時不停止などの法令違反あり。
年齢層別死傷者数では、65歳以上の高齢者が突出して多い。

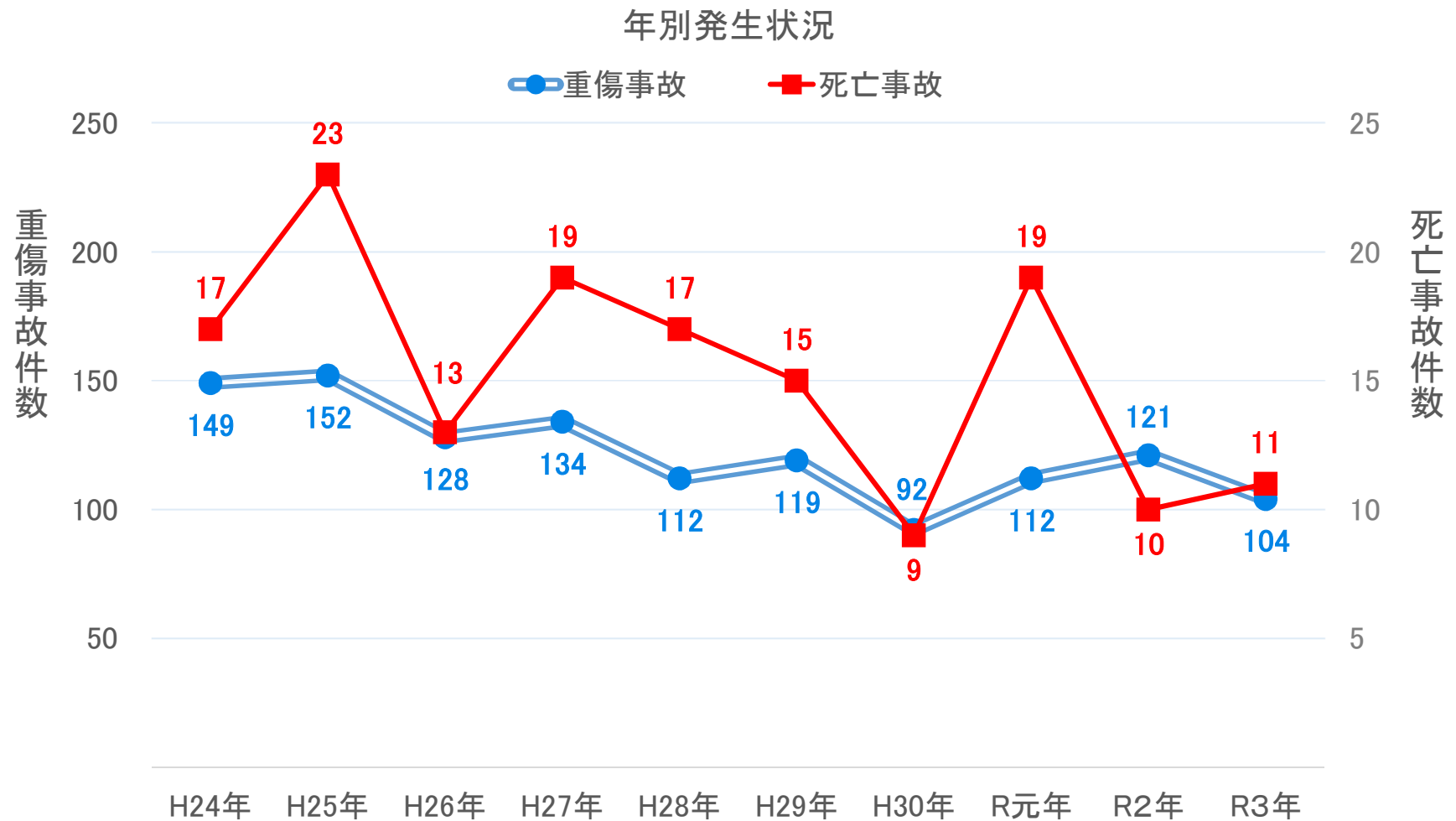
注1 本資料は、令和3年12月末日までに入手した10月中発生 of 事故データにより作成したものである。

注2 「重傷」とは、1か月(30日)以上の治療を要する負傷をいう。

注3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

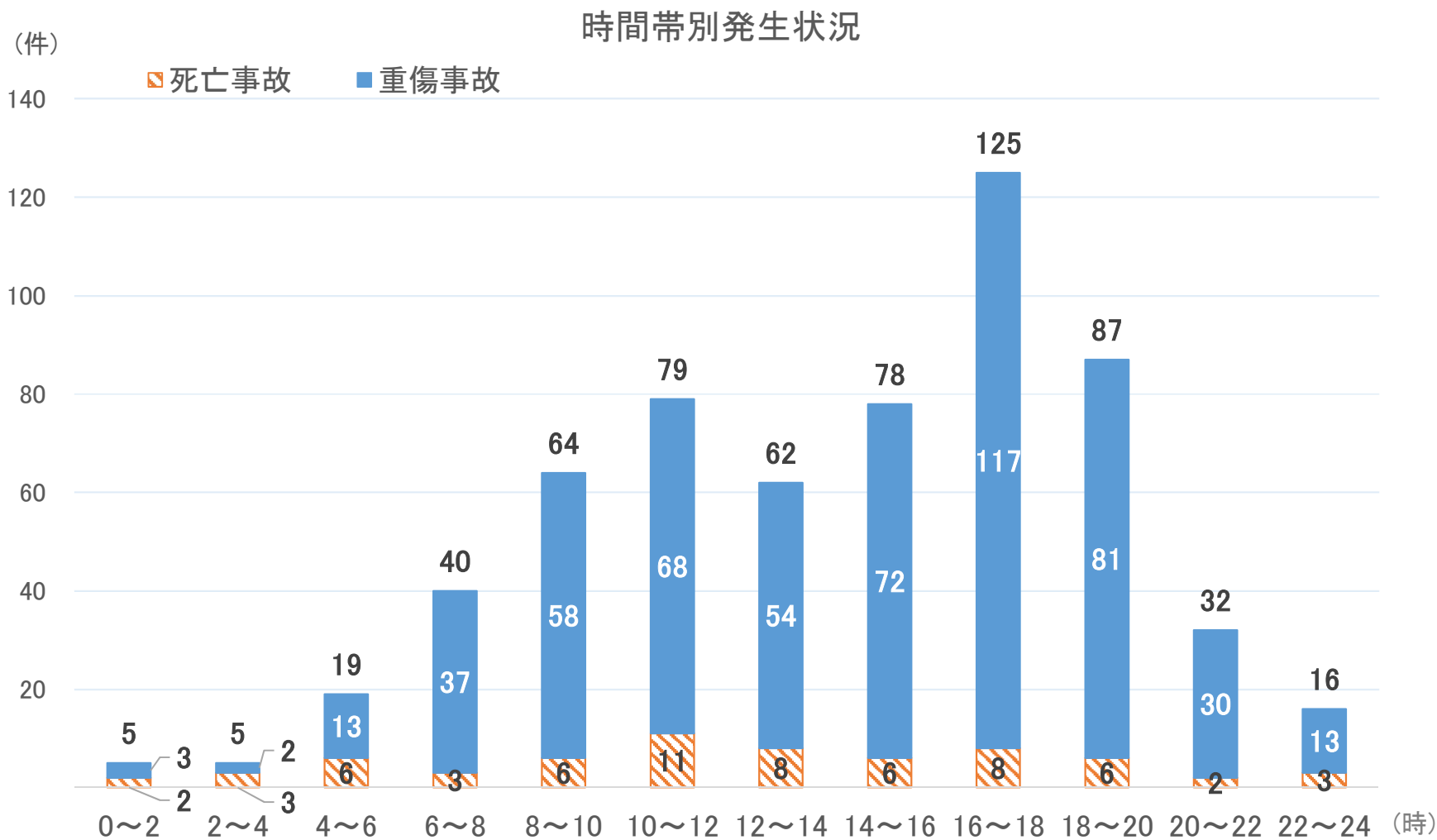
1-1 年別死亡・重傷事故発生状況

死亡事故件数、重傷事故件数共に、増減を繰り返しながらも減少傾向で推移している。



1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

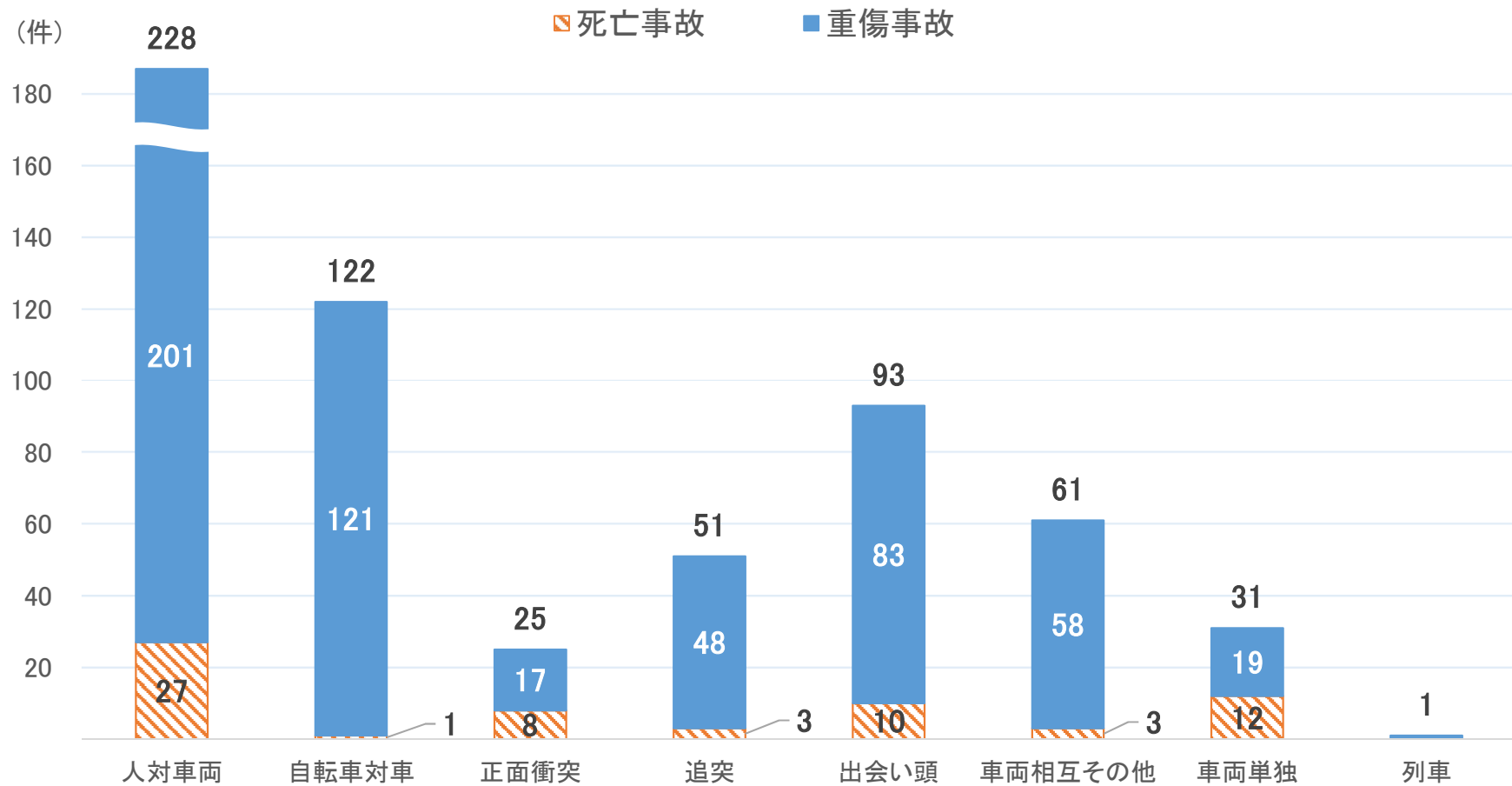
発生件数全体では、16時～18時が最も多く、次いで18時～20時が多い。
死亡事故は、10時～12時が最も多く、次いで12時～14時及び16時～18時が多い。



1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

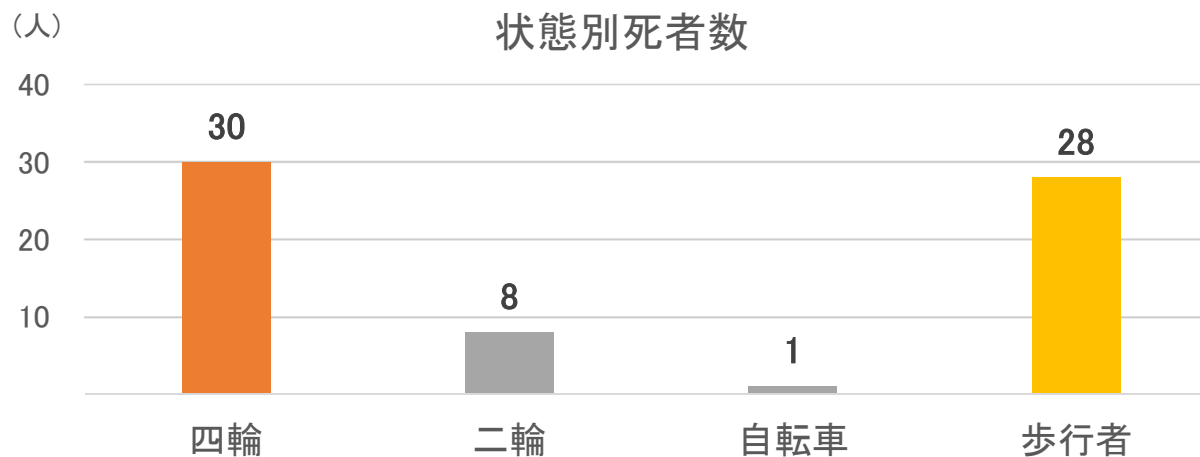
発生件数全体では、人対車両が最も多く、次いで自転車対車が多い。
死亡事故は、人対車両が最も多く、次いで車両単独が多い

事故類型別発生状況

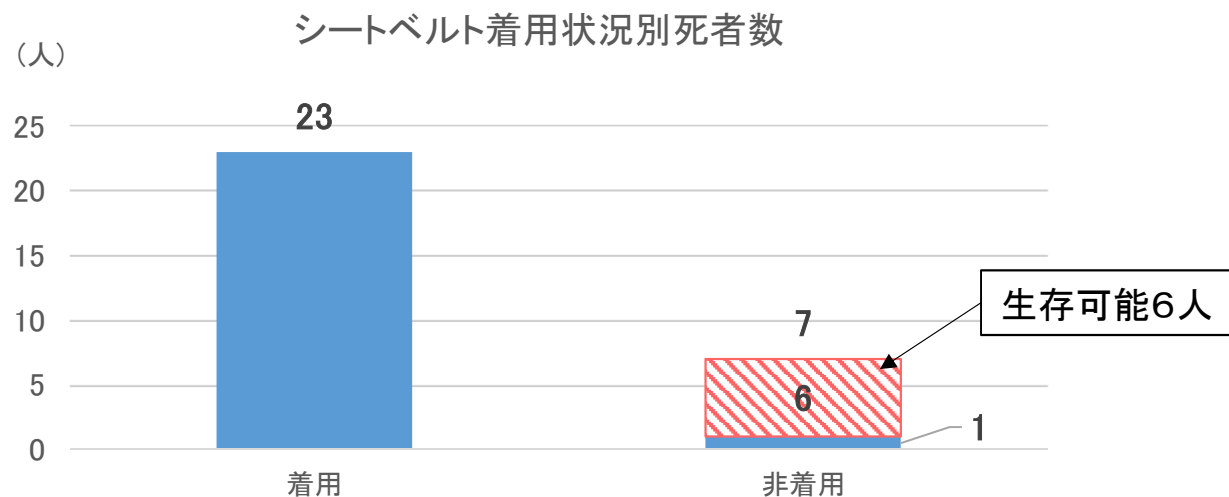


1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。

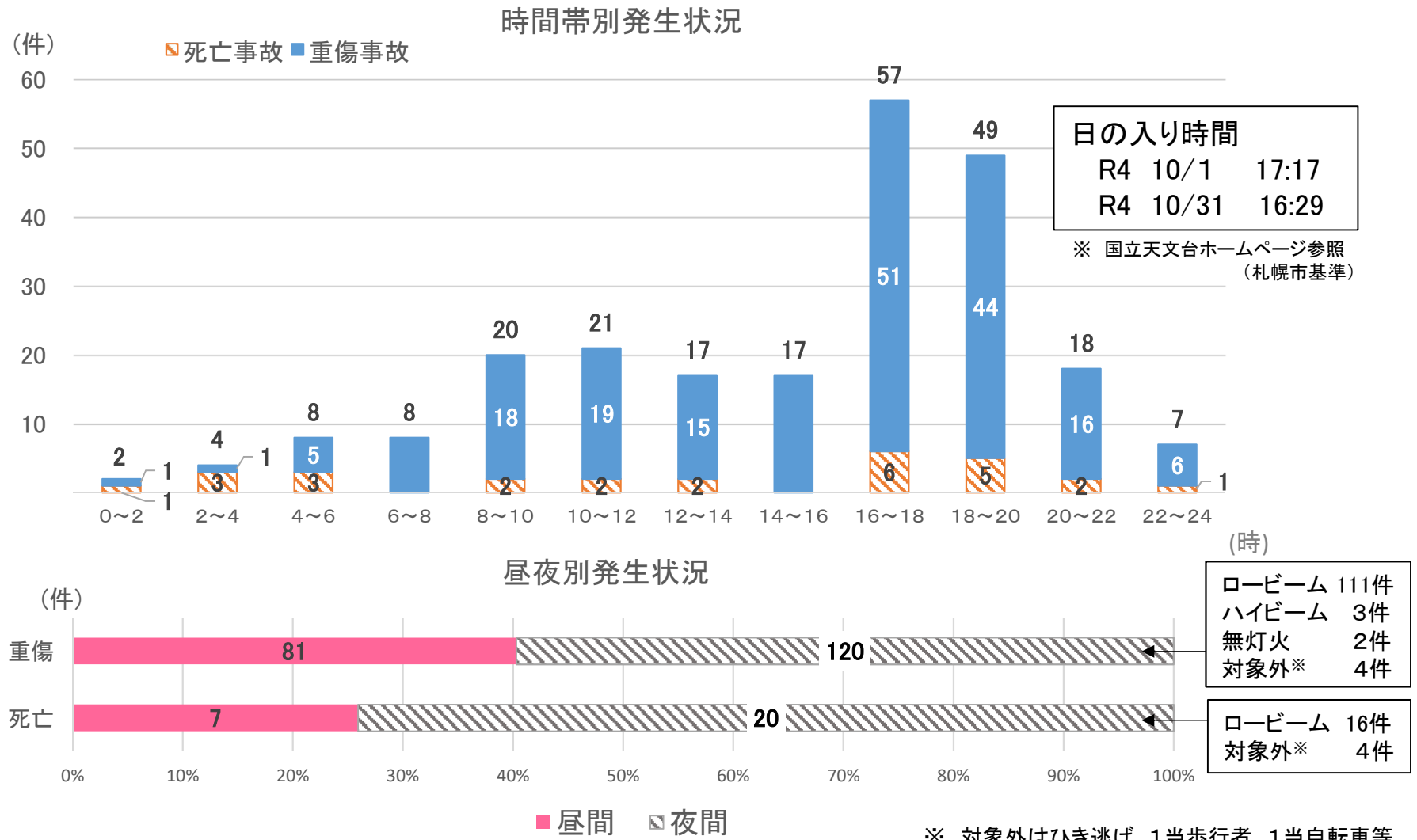


シートベルト着用対象者(四輪)の死者30人中、シートベルト非着用者は7人(23.3%)であり、このうち6人(85.7%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



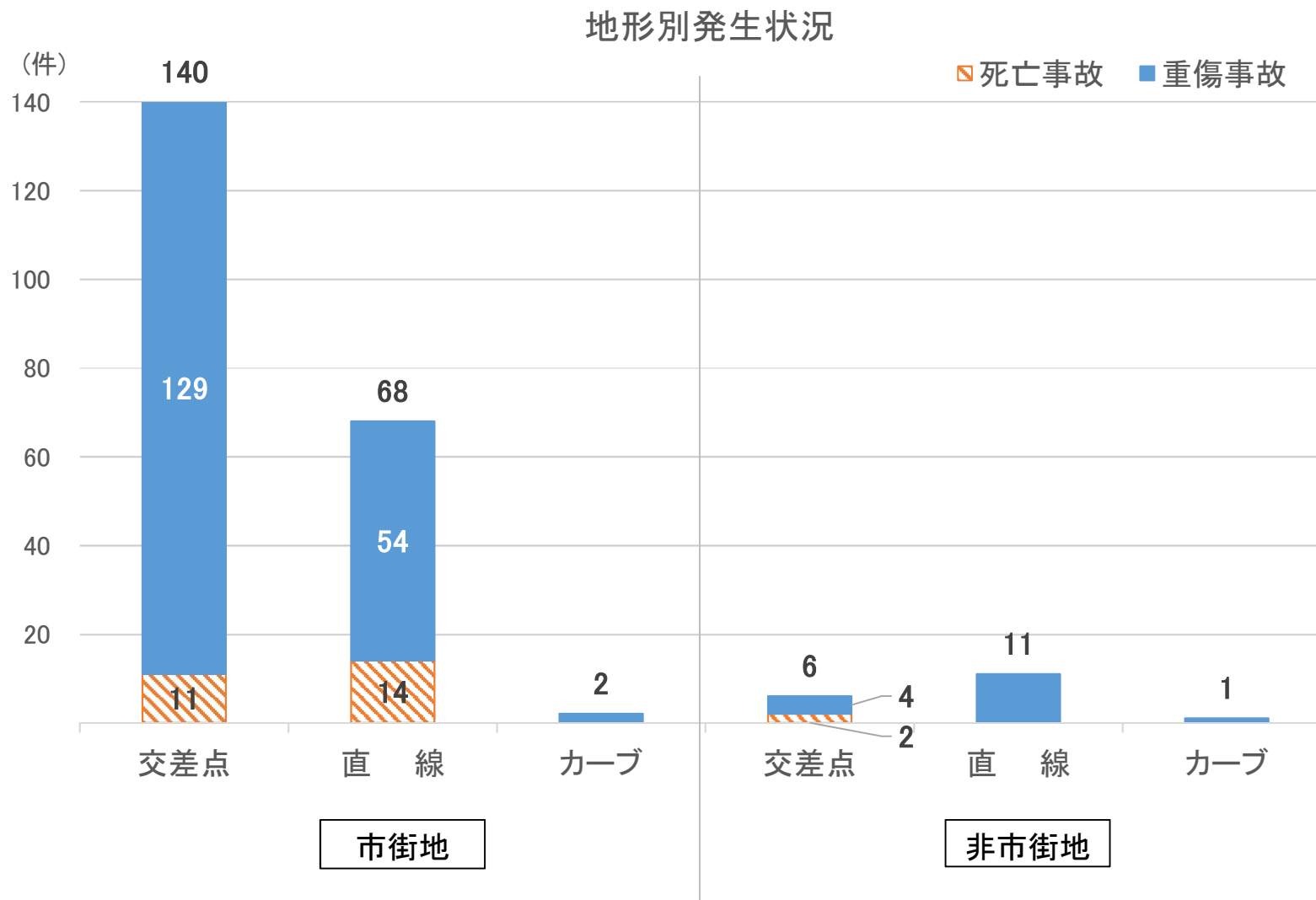
2-1 人対車両における時間帯別発生状況

16時～18時が最も多く、次いで18時～20時が多い。



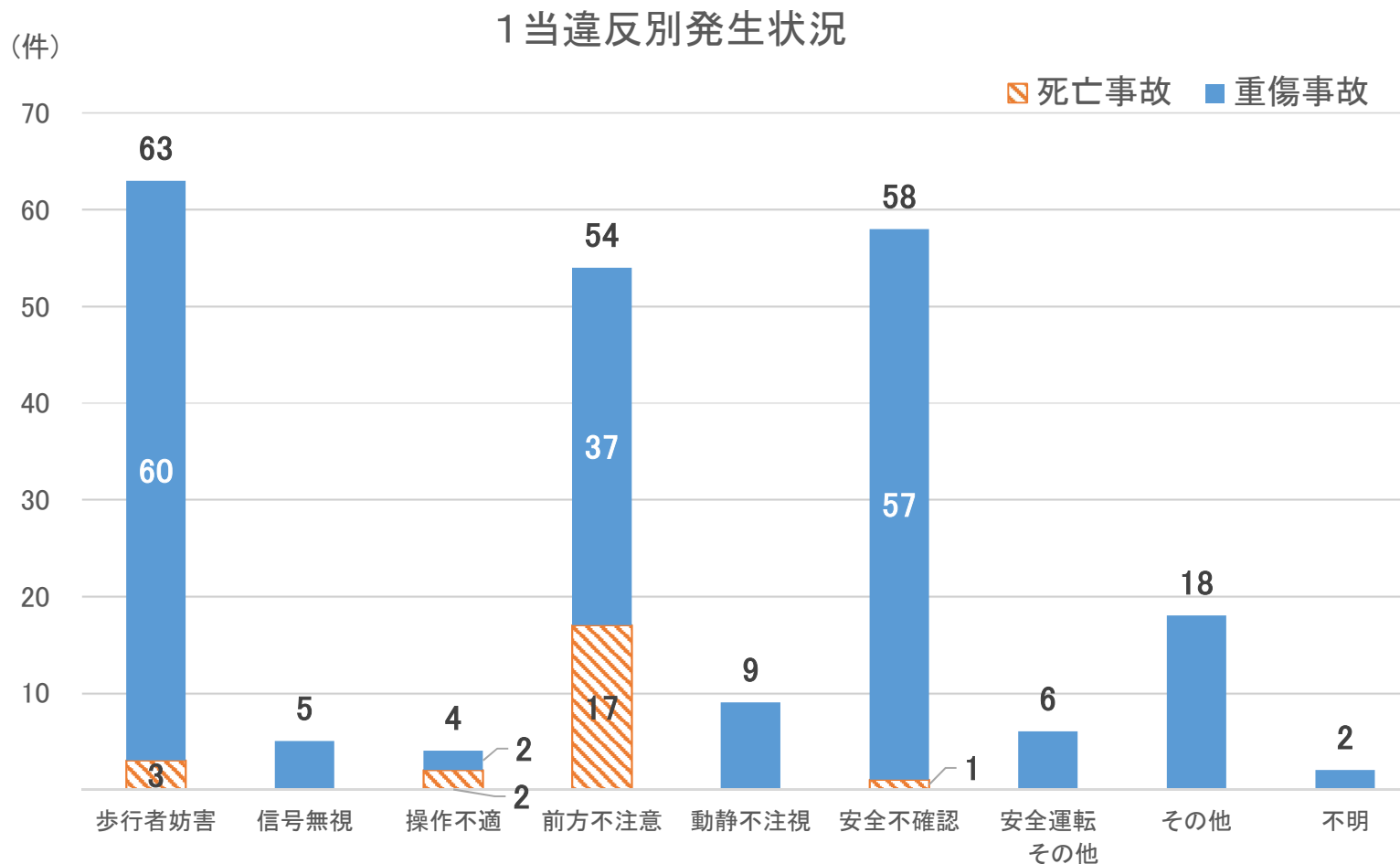
2-2 人对車両における地形別発生状況

市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。



2-3 人対車両における1当の違反別発生状況

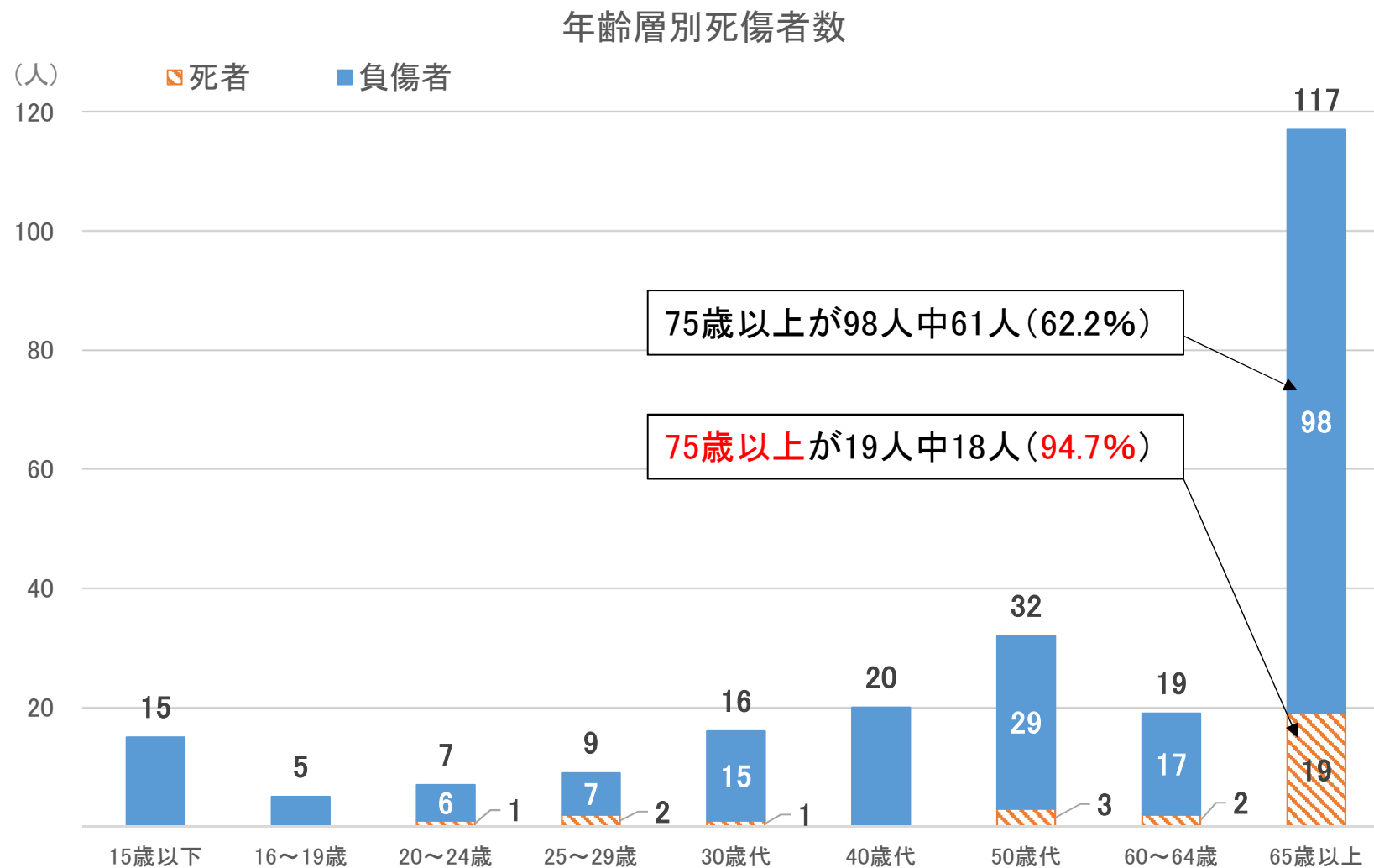
歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。
死亡事故は、前方不注意が突出して多い。



※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く

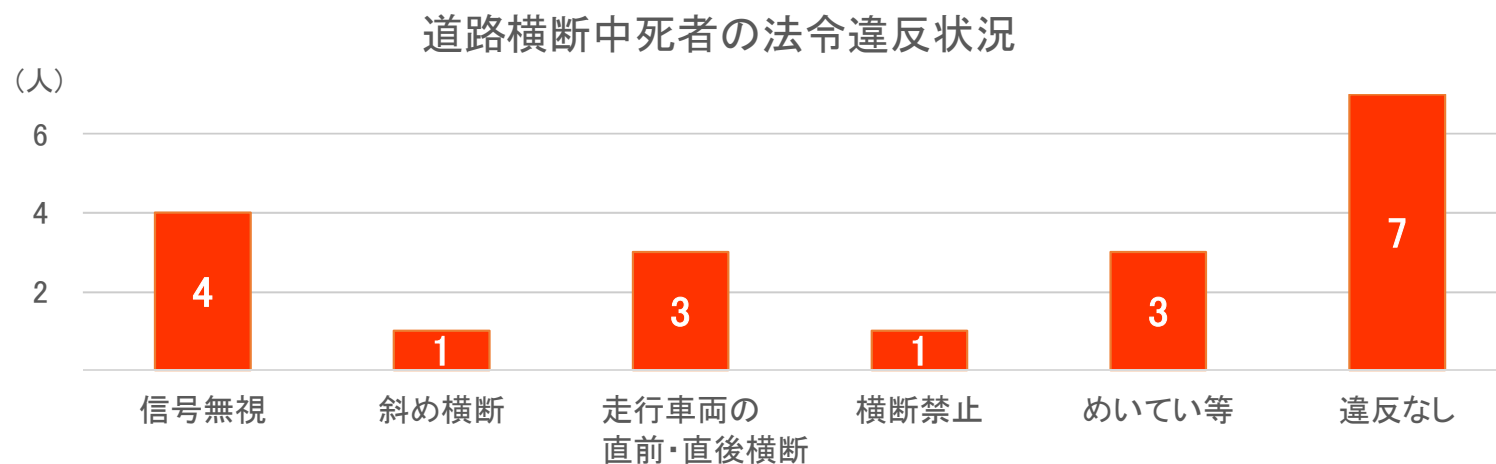
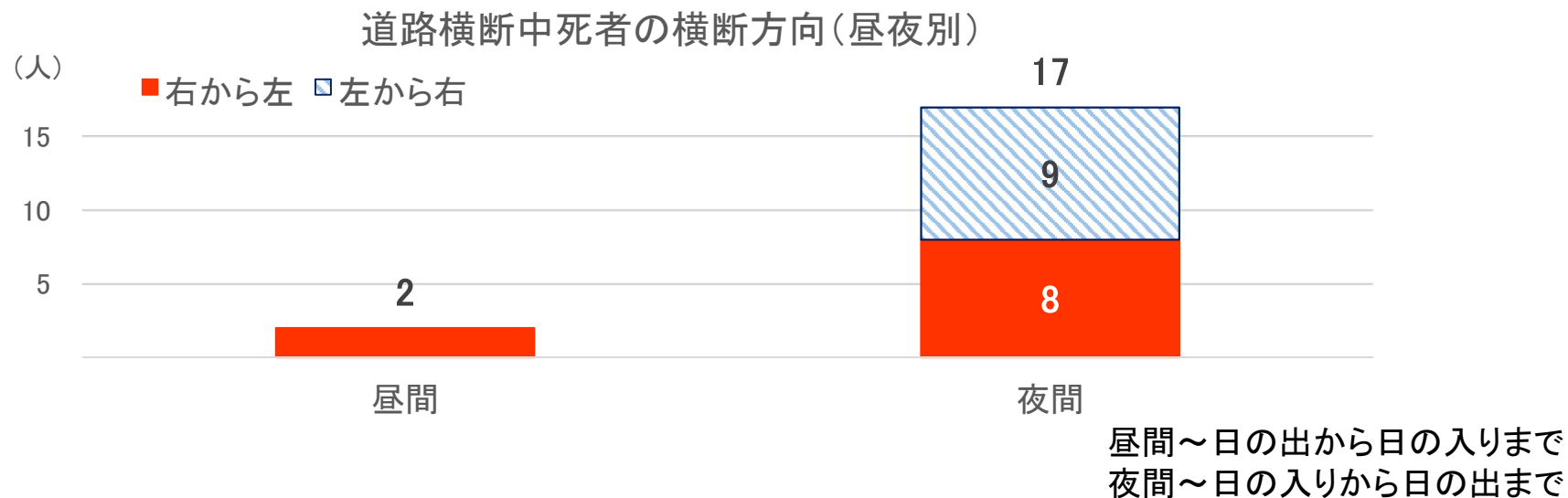
2-4 人対車両における年齢層別死傷者数

65歳以上が最も多く、全体の約5割を占めている。



2-5 人対車両における歩行者の横断方向別死者数・法令違反状況

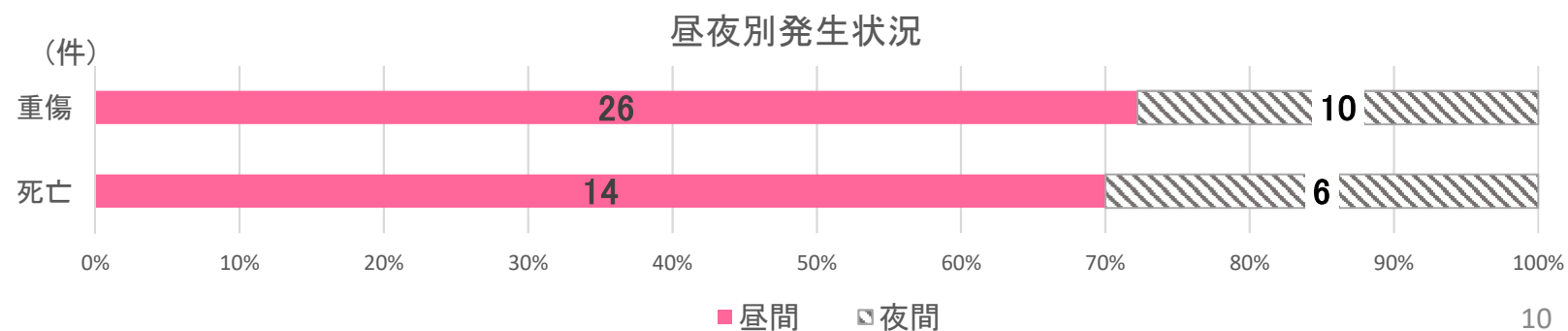
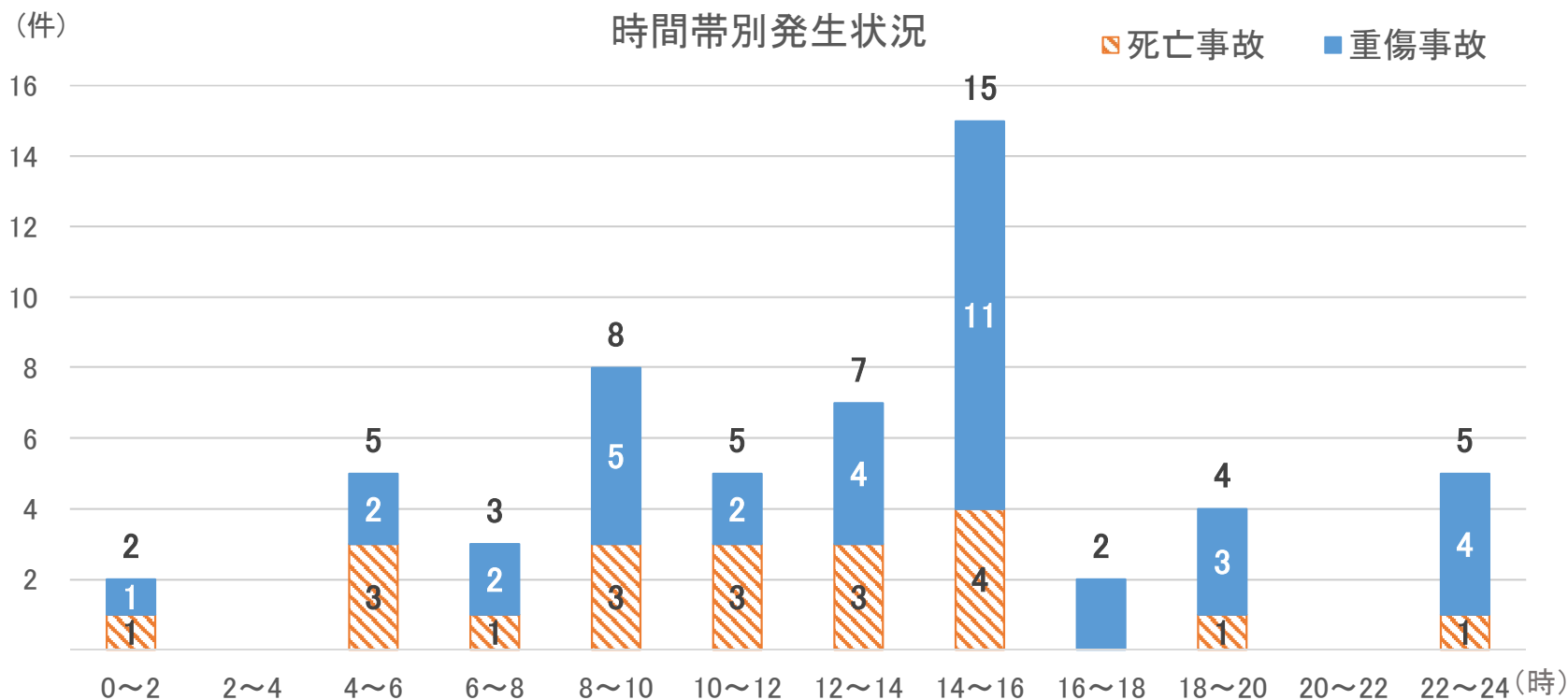
道路横断中の死者19人のうち、昼間が2人、夜間は17人となっている



道路横断中の死者19人のうち、信号無視などの「違反あり」が12人(63.2%)となっている。

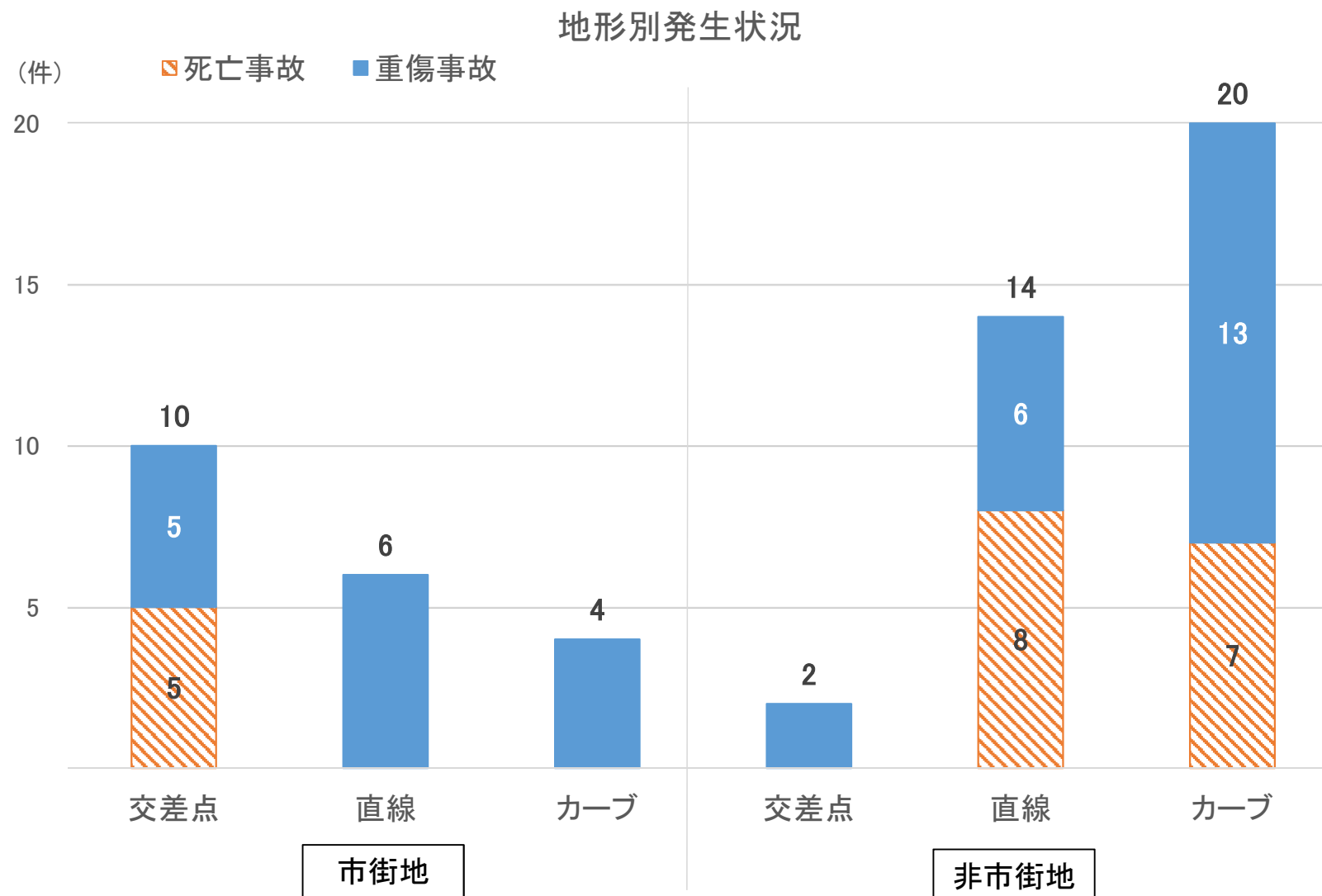
3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

14時～16時が最も多く、次いで8時～10時が多い。



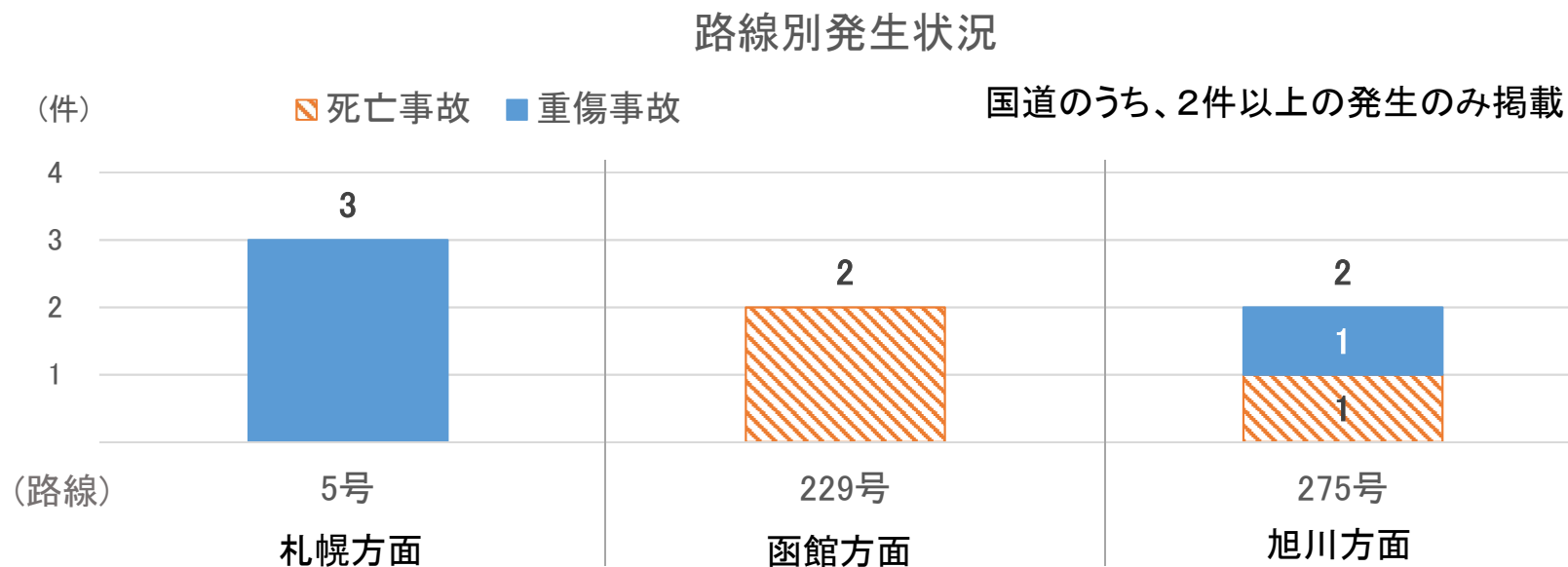
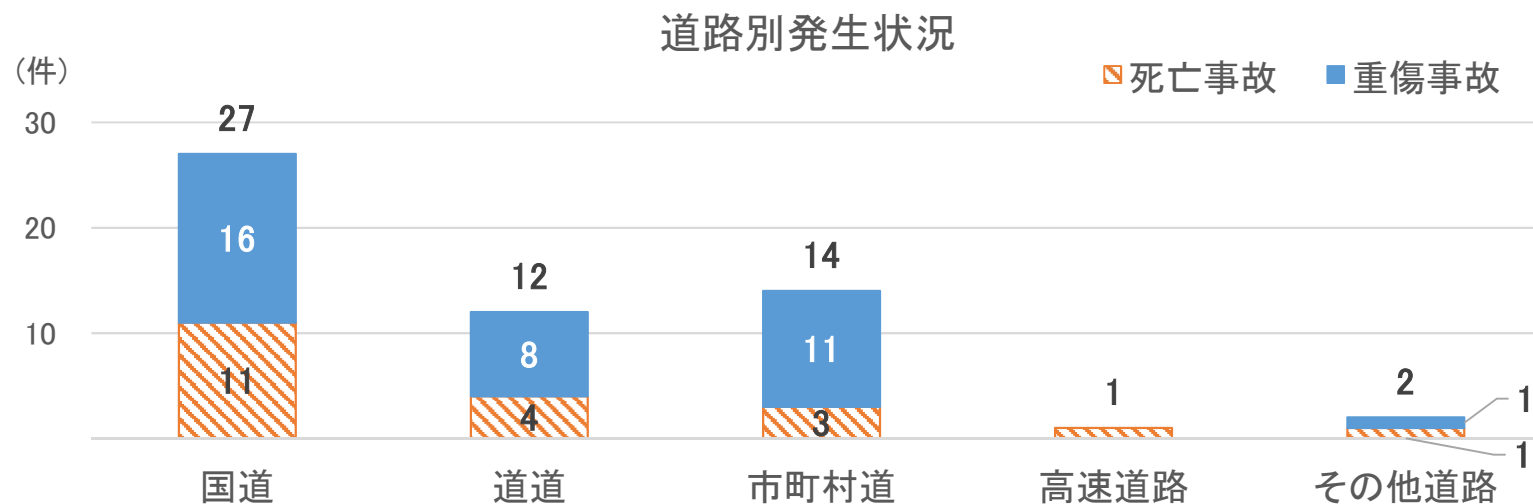
3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

非市街地カーブが最も多く、次いで非市街地直線が多い。



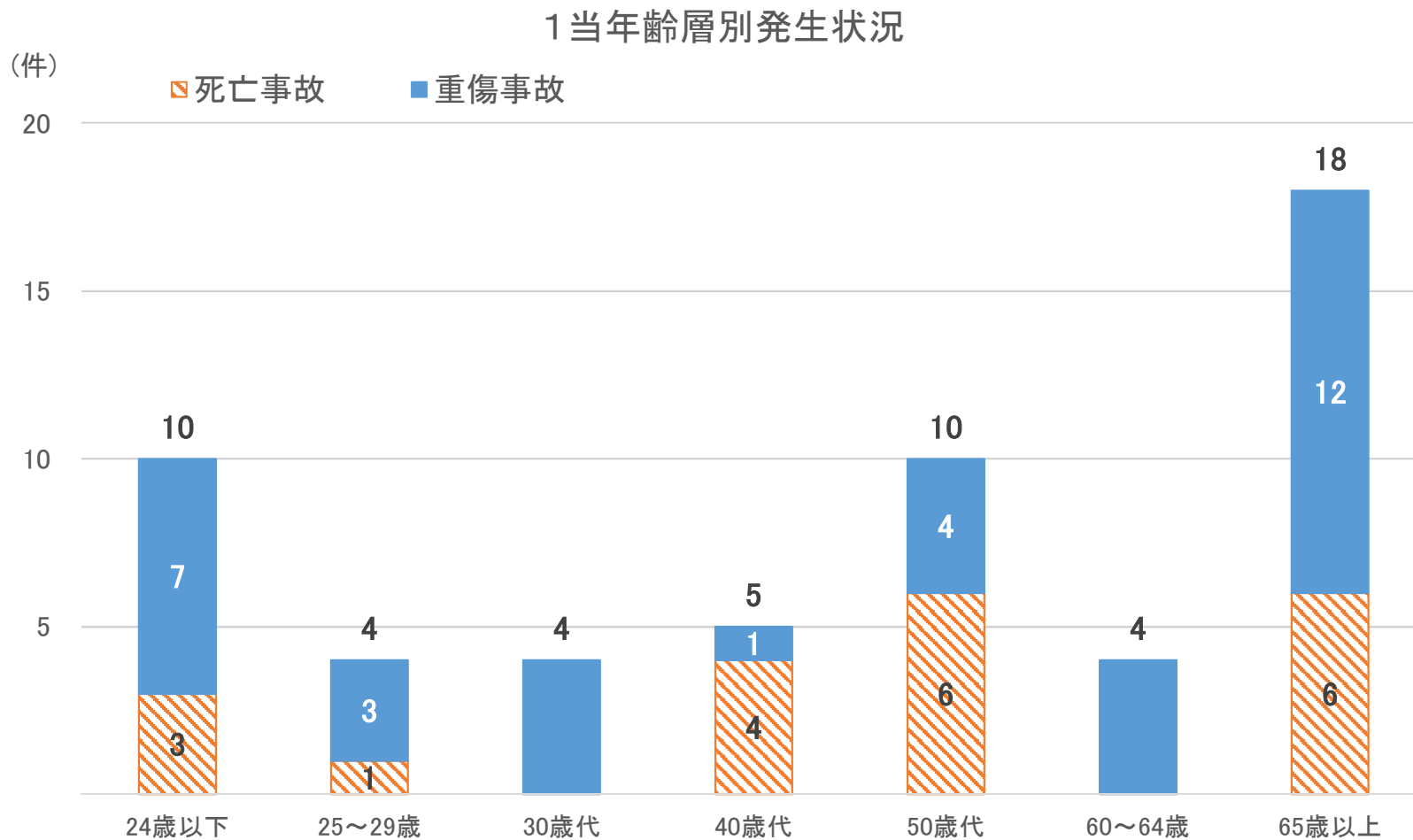
3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。



3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

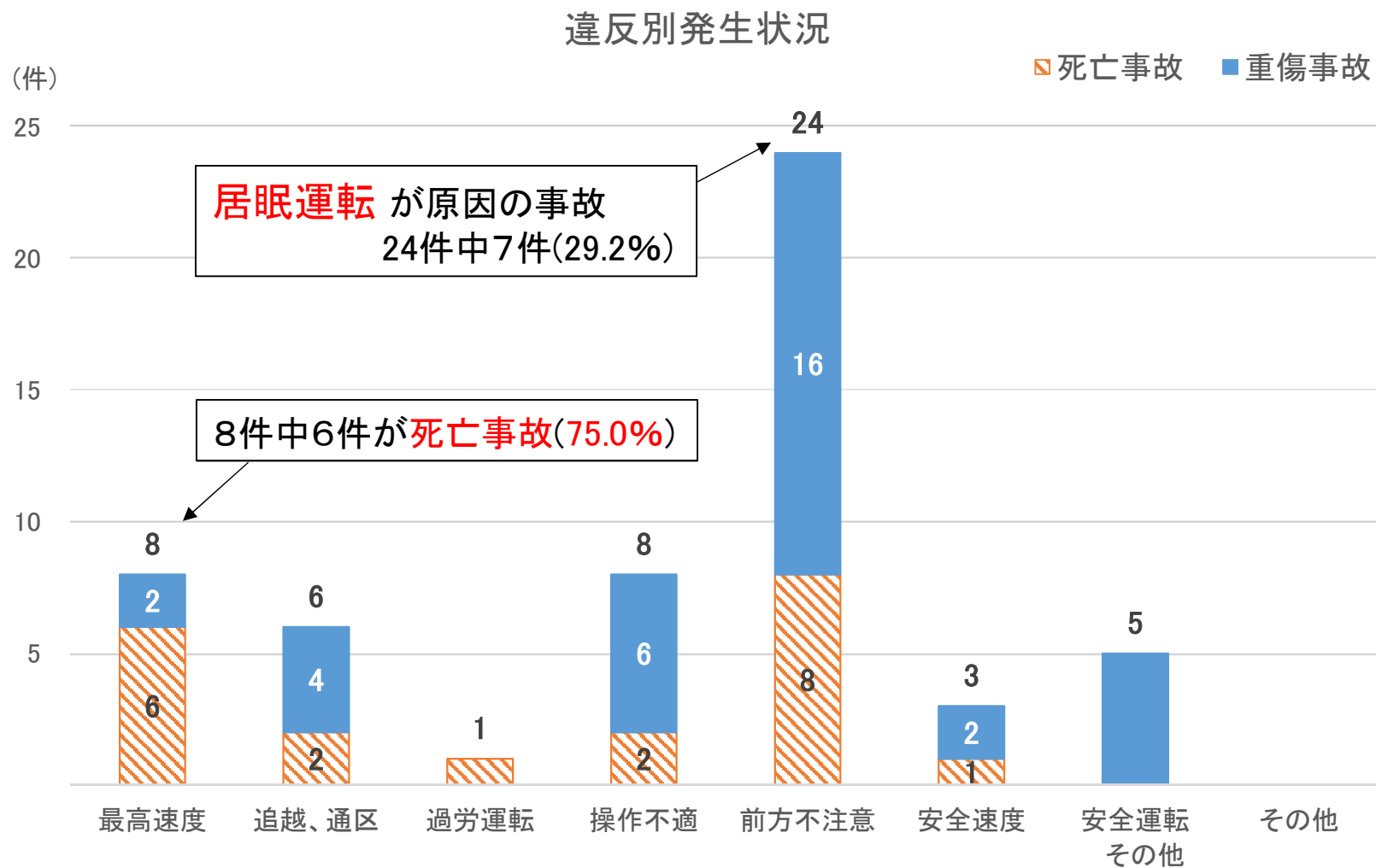
65歳以上の高齢運転者が最も多く、次いで24歳以下及び50歳代が多い。



※ 1当が自転車の場合を除く

3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

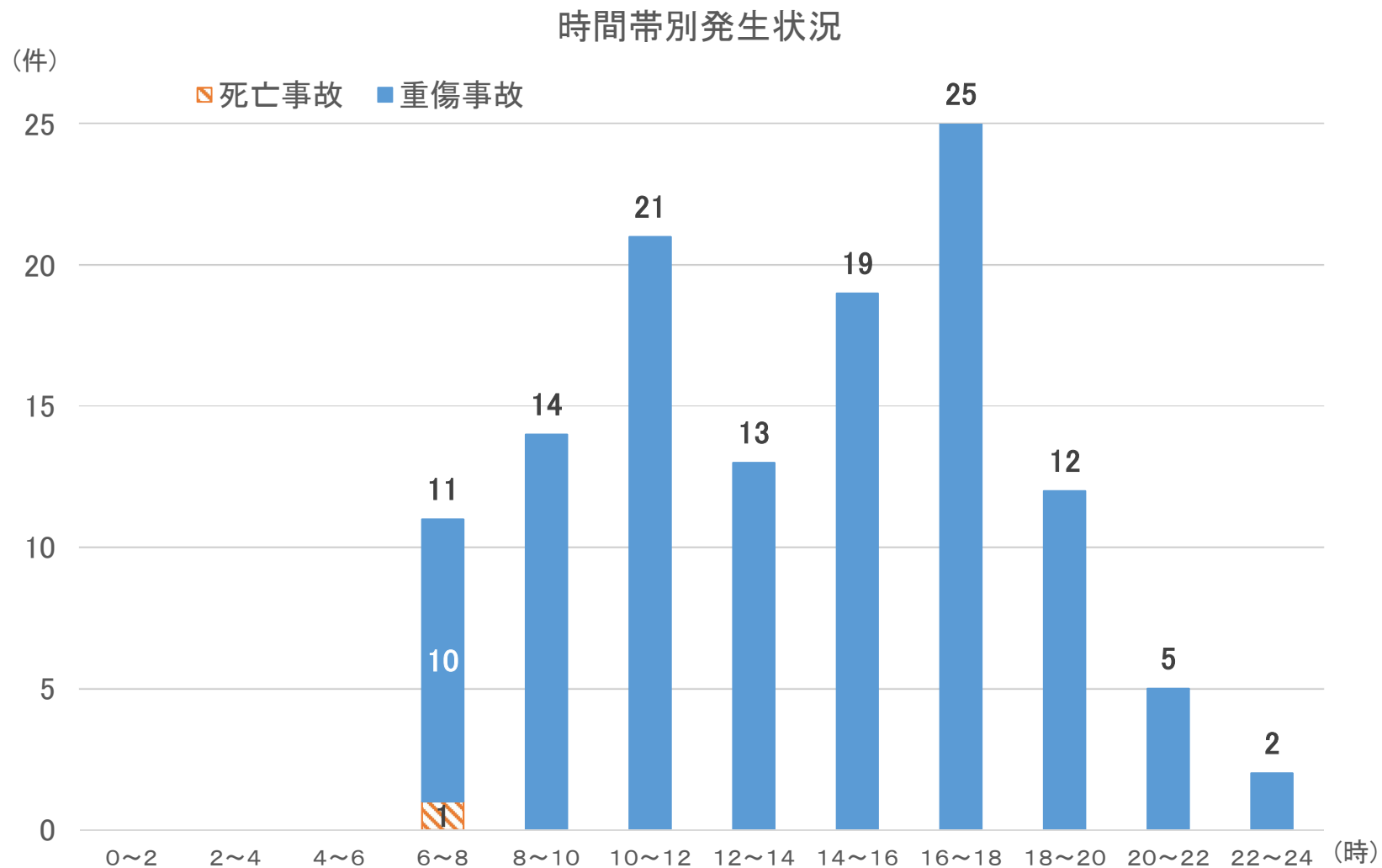
前方不注意が最も多く、次いで最高速度及び操作不適が多い。
最高速度の約8割が死亡事故となっている。



※ 1当が自転車の場合を除く 14

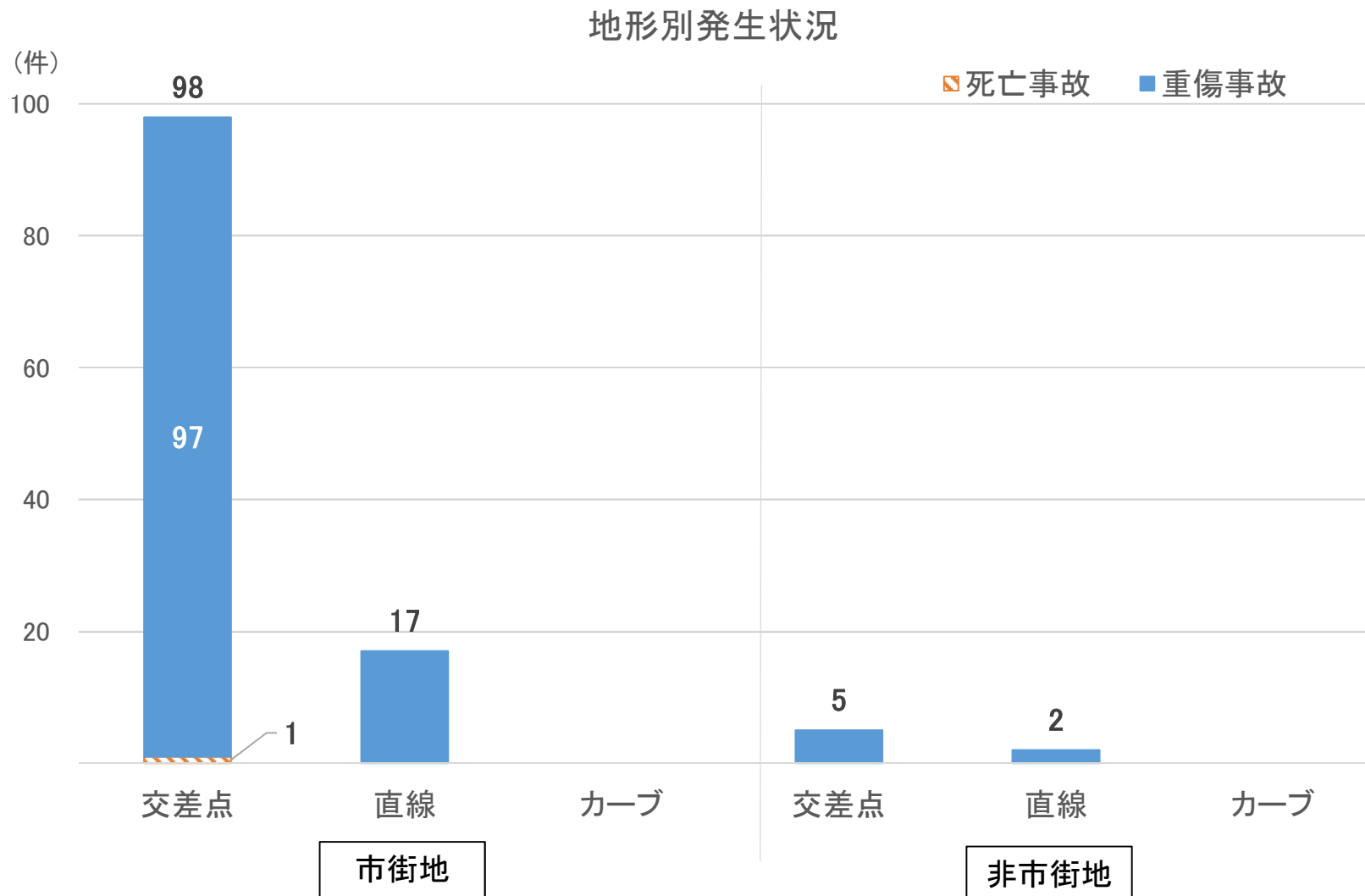
4-1 自転車対車における時間帯別発生状況

16時～18時が最も多く、次いで10時～12時が多い。



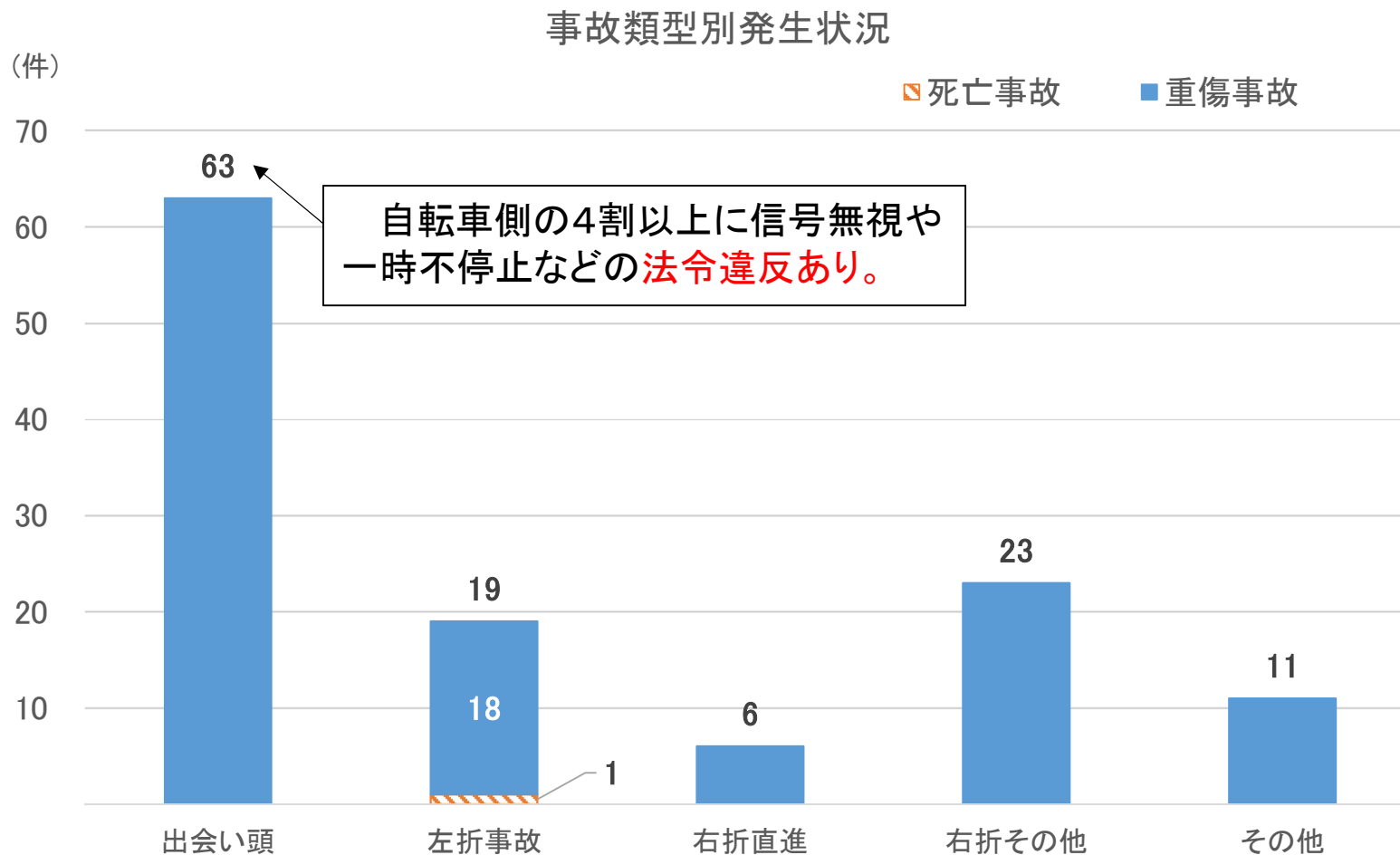
4-2 自転車対車における地形別発生状況

市街地交差点が最も多く、次いで市街地直線が多い。



4-3 自転車対車における事故類型別発生状況

出会い頭が最も多く、次いで右折その他が多い。
出会い頭のうち、自転車側の4割以上に信号無視や一時不停止などの法令違反あり。



(注)「左折事故」、「右折その他」とは一方の車両等が、左折、右折時に発生した事故をいう。

4-4 自転車対車における自転車乗用中の年齢層別死傷者数

65歳以上の高齢者が突出して多い。

